

ならしのらたはたらく

～夢に向かって共に働く願いを込めて～

障がいがあっても、得意分野を仕事に活かす

千葉県初の特例子会社として

今回の「ならたく」では、前号より原稿の印刷をお願いしている、習志野市茜浜に本社を置く「東洋エンジニアリング(株)」の特例子会社（※裏面にて説明）「(株)千葉データセンター」を紹介致します。県と千葉市も出資協力する第三セクターとして昭和六三年四月に県内最初の特例子会社として設立。現在は社員一九名中一二名の障がいのある方々が働いています。様々な団体の会報等の編集・印刷や習志野商工会



やりがいがあります！



任せてもらっているの、嬉しい

社員一人一人が「主役」

議所ホームページの構築・メンテナンスを行うなど、親会社の下請け業務のみに依存せず、積極的に外部から仕事を請けて活動している元気な会社です。

社員の皆さんは、年齢や経歴、入社の経緯も様々

ですが「情報をかたち(データ)にして提供」という業務コンセプトの下、①データ入力やスキヤニング ②印刷物の企画・編集・製作 ③Webサイトの企画・設計・構築等の三つの専門部門の仕事に従事しており、スケジュール

に

ル管理・顧客対応・社員教育なども部門のリーダーを中心に自分たちで行っているそうで、今回の取材もそんな社員の皆さんが対応して下さいました。同じように障がいを抱えた仲間としてチームワークを大切にしている様子が伝わってきます。また、館内はどれも車椅子等での移動が自由に行えるよう、廊下や通路の幅は勿論、段差やドアの作り、スイッチの高さなど至るところに社員の働き方を支える工夫が凝らしてありました。

プロフェッショナルとして

印象的だったのは①で、例えばお店の会員情報やアンケート回答用紙の記載内容等を、専用端末を使って黙々と入力しているのですが、それを操る皆さんのタイプライドの早さに感銘を受けました。聞けば、一人あたり

平均百万タッチ/月とのこと！また、壁に目をやると「アビリンピック(全国障害者技能競技大会)優勝者」と書かれた表彰状がかかっています。「なるほど！」と納得した次第です。しかしこの仕事、手首への負担は相当なもので、腱鞘炎にならないよう皆さんケアには気を配っているそうで、そんなところにもプロフェッショナルとしての誇りを感じました。



得意分野なので誇りが持てます

時代の変化を生き抜くために

そんな「(株)千葉データセンター」ですが、今大きな変化を迫られています。

す。データ入力の分野でも印刷の分野でもIT化が急速に進み、これまで職人的な経験や技術が要求された仕事も誰でも比較的簡単に行えるようになった結果、競争相手が増え、外部から仕事を取ってくるのが以前にも増して大変になっていること。親会社の協体制や過去に培ってきた技術や取引先との信頼関係を最大限に活かしつつ、また必要に応じて新しい仕事なども作り出して乗り越えて貰いたいですね。次年度からは、新たに発達障がいのある方の雇用も予定されているとのこと。期待しましょう！

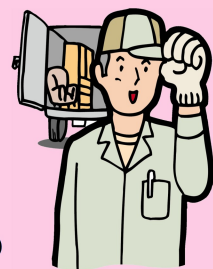
- 株式会社千葉データセンター (千葉市稲毛区天台六・五・一三)
- TEL ○四三(二八四) 三六一一
- FAX ○四三(二八四) 三五三三
- 設立日 昭和六三年四月二七日
- 従業員数 一九名(うち障がい者一二名)



特例子会社とは？

- ◆「障害者の雇用の促進等に関する法律」では、民間企業・国・地方公共団体に対して、障がい者の雇用機会の確保が、個々の事業主ごとに義務づけられています。（民間企業の場合は、常用労働者数50人以上に対して実雇用率2.0%以上。）
- ◆その際、障がい者の雇用の促進と安定を図るため特別の配慮をした子会社を設立し、一定の要件を満たす場合には、特例としてその子会社で雇用されている労働者を親会社に雇用されているものとみなして、親会社の実雇用率に算定することができます。これが「特例子会社制度」です。
- ◆尚、特例子会社を有する親会社に加えて関係する他の子会社（関係会社）を含めた企業グループ全体に対しても、実雇用率を算定することもできます。
- ◆現在、全国で391社、千葉県では25社の特例子会社があります。

<特例子会社によるメリット>



(1) 事業主にとってのメリット

- ◆ 障がいの特性に配慮した仕事の確保・職場環境の整備が容易となり障がい者の能力を十分に引き出すことができる。
- ◆ 職場定着率が高まり、生産性の向上が期待できる。
- ◆ 障がい者の受け入れに当たっての設備投資を集中化できる。
- ◆ 親会社と異なる労働条件の設定が可能となり、弾力的な雇用管理が可能となる。



(2) 障がい者にとってのメリット

- ◆ 特例子会社の設立により、雇用機会の拡大が図られる。
- ◆ 障がい者に配慮された職場環境の中で、個々人の能力を発揮する機会が確保される。

チャレンジ

「チャレンジドオフィスならしの」開設



平成27年4月から一般企業で働く意欲があるものの、なかなか就労に結びつかない障がいのある方を対象に、習志野市職員として一定期間の職務経験を積むことで就労を円滑に行えるように支援する「チャレンジドオフィスならしの」を開設します。仮庁舎2階で働いていますので、ご支援よろしくをお願いします。

【担当】 習志野市人事課

「千葉県立習志野特別支援学校」開校

本年4月、習志野市に、知的障がいのある児童を対象とした県立特別支援学校が開校します。障がいのある子ども一人一人の自立と社会参加に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導と必要な支援を充実させ、その能力や可能性を最大限に伸ばしていきます。本市の特別支援教育の中核として、各学校・関係機関が連携し特別支援教育の一層の充実を図ります。



【場所】 習志野市袖ヶ浦5-11-1
習志野市立袖ヶ浦東小学校敷地内
(袖ヶ浦東幼稚園跡施設)

編集後記

▼4月。入学、就職、異動と生活が変わる時期である。法律もしかり。介護保険法や障がいの制度など法の施行の時期でもある▼最近「自己責任論」がネットを賑わした。「イスラム国」のニュースは記憶に新しい。国は国民の命を守るのが責任ならば、もう少し違った対応は出来なかったか。この事件を世論が「自己責任」で捉えようとすると、例えば、アルコール依存症の人に対してはどう捉えるのだろうか▼財政難により法改正され、昨日まで使っていた制度が使えなくなる人がいる。なんでも「自己責任」で捉えてしまう風潮になっていかなければいいが▼はたして本当に財政難なのか。軍事費より社会保障を充実してほしい。社会保障費を削ることも、いわんや戦争も、辛い思いをするのはいつも弱者なのだから(D)

お問い合わせ

習志野市障がい者地域共生協議会
(事務局) 習志野市障がい福祉課
習志野市鷲沼1丁目1番1号(仮庁舎3階)
tel: 047-453-9206
fax: 047-453-9309
ホームページ:<http://www.city.narashino.lg.jp/joho/keikaku/shogai/jiritushiennkyougikai.html>